

(2) 組手競技

- ① 組手団体戦は、形団体戦各ブロックの上位8チームによりトーナメント方式で行う。
- ② 競技は、(公財)全日本空手道連盟空手規定に準拠して実施する。
- ③ 競技時間は、1分30秒フルタイムとする。
- ④ 勝敗は、時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技終了時に同点で「先取」がない場合は、引き分けとする。
- ⑤ 組手団体戦の勝敗は、全員試合を終了した時点で勝者数の多い方を勝ちとする。勝者数が同数の場合は、ポイント数が多い方を勝ちとする。ポイントが同数の場合のみ代表戦を行う。
- ⑥ 定員数を下回り、2名の場合でも試合は成立する。ただし、先詰め出場とする。
- ⑦ チームの勝敗にかかわらず、全員(3名)の試合を行う。
- ⑧ 選手の出場順は、監督が試合ごとに所定の用紙に記入し、各コートの記録係に提出すること。
- ⑨ 安全具は各自で用意すること。全空連検定メンホン№6または7以上(ミズノ製ニューメンホン用シールド着用)、ボディプロテクター(空手衣の中に着用)、拳サポーター(小学生は全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーターとし、中学生は従来の赤・青拳サポーターとする)、インステップガード及びシンガードを着装すること。また小学3年生以上の男子は必ずセーフティカップを着用すること。小学1、2年生は、所属の監督の判断に委ねる。
- ⑩ 試合の審判団は、監査1名、主審1名、副審4名の構成で行う。

4 表 彰

(1) 各部位に次の各賞を授与する。

(ア) 小学1・2年生の部、小学3・4年生の部、小学5・6年生の部

- ① 優秀賞 (2チーム)
- ② 優良賞 (2チーム)
- ③ 敢闘賞 (4チーム)
- ④ 努力賞 (8チーム)

※①～③は閉会式にて授与する。

(イ) 中学生男子の部、中学生女子の部

- ① 優秀賞 (1チーム)
- ② 優良賞 (1チーム)
- ③ 敢闘賞 (2チーム)
- ④ 努力賞 (4チーム)

※①～③は閉会式にて授与する。

(2) 優秀賞のチームには日本武道館より優秀旗(持ち回り)を贈る。

(3) 前年度の優秀賞受賞チームにはレプリカを授与する。

5 その他

この「試合規則」の内容は、責任者のみならず各チームの監督も熟知しておくこと。

以上